

2025-2026 関根信行年度 第 11 回

通算 2889 例会

令和 7 年 10 月 9 日(木)
10 月第 2 例会

本日の例会

例会場 料亭ふな又
点鐘 12:30
テーマ 部門セミナー報告①
主管 会長 幹事

- ・ロータリーソング
我等の生業
- ・四つのテスト・ロータリーの目的
中村 正 会員

次回例会案内

令和 7 年 10 月 16 日(木)

例会場 料亭ふな又
点鐘 18:00
テーマ 部門セミナー報告②

2025-2026 年度 岩槻ロータリークラブ

会長 関根信行
幹事 小林 篤
会場出席・公共イメージ委員長 星 和彦
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点 鐘 第 1・第 2 12:30
第 3 18:00

クラブ事務所

さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



会長の時間

第 63 代会長 関根信行

1. ポリオ根絶への使命と募金活動のご報告 ポリオとは？

ポリオ（正式名称：急性灰白髄炎）は、かつて「小児麻痺」と呼ばれ、恐れられた感染症です。汚染された水や食べ物を通じて感染し、多くの場合軽症で済みますが、まれに手足、特に下肢に麻痺が残ることがあります。

日本ではワクチンの普及により流行は完全に抑えられ、現在は「四種混合ワクチン」により予防が徹底されていますが、アフガニスタンやパキスタンなどでは依然として脅威が残っています。2025 年時点で年間約 100 件 2025 年時点で年間約 112 件（WHO WHO 2025 年 9 月速報値）

ポリオはワクチンで防げる病気です。ロータリークラブとして、皆で協力し、この病気を世界から根絶する日を目指しましょう。歴史に名を刻むまで、あと一歩です。

10 月 2 日募金活動の成果

先週 10 月 2 日、岩槻駅前において「ポリオ根絶」を目的とした募金活動を岩槻ロータリークラブ（RC）と岩槻インターアクトクラブ（IAC）の皆様と共に行いました。

16 時から 17 時までのわずか 1 時間で、募金額 38,008 円という非常に大きな成果を上げることができました。ご参加いただき尽力くださった会員の皆様に心より感謝申し上げます。特に内藤部門委員長、富田副委員長、渡辺事務局員には多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、同日にはポリオフォトコンテストのための写真撮影も行い、小林幹事のご協力に感謝いたします。

2. 赤い羽根募金活動のご報告

昨日、岩槻インターアクトクラブ（IAC）と共に赤い羽根募金活動に参加してまいりました。この募金は、地域の福祉活動（高齢者・障がい者・子ども支援、災害支援など）を支えるための共同募金であり、集まった資金は地域の福祉団体や活動に直接役立てられます。

ポリオ募金と赤い羽根募金の両方に参加する高校生たちのボランティア精神に、心温まる思いでいっぱいになりました。未来を担う若者たちの成長を、これからも共に支えていきましょう。

3. 部門セミナー報告

本日は、7 月 18 日に上尾文化センターで始まり、10 月 1 日にさいたま市文化センターでひと段落した 2025 年度～2026 年度の部門セミナーについて報告いたします。

ご出席いただいた各部門委員長の皆様には、活発な意見交換と学びの場を築いていただきました。詳細な成果を本例会で共有いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4. RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）のご案内

RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）は、ロータリークラブのリーダーシップスキルを向上させるための研修プログラムです。私自身も参加した経験がありますが、「なるほど！」と納得する学びと気づきを数多く得ることができました。

また、アルコールを介さずに多くの経営者と本音で語り合うことで、深い絆が生まれる貴重な場でもあります。皆様はすでに奉仕活動に取り組む志の高い方々です。この勉強会を通じて、異業種交流やさらなるスキル向上を目指していただければ幸いです。参加締め切りは明日 10 月 10 日です。ぜひご検討ください。（※締め切り日が本挨拶の翌日となっておりますので、早急なご対応をお願いいたします。）

5. ノーベル賞受賞者の功績に学ぶ

最近、免疫学の坂口志文氏が「制御性 T 細胞による免疫寛容の仕組み」を解明した功績で、また京都大学の北川進特別教授が金属有機構造体（MOF）の創出でノーベル化学賞を受賞されました。



北川教授の「幸運は準備された心に宿る」という言葉や、「自分の感性を信じ、チャレンジし、興味を持つことが方向性を支えた」というコメント、そして北川教授の研究開発期間が28年にも及んだこと大変驚きました。この忍耐と準備には大いに感銘を受けました。

これらは私たちの奉仕活動にも通じるものがあります。こうした偉大な成果に学び、私たちも挑戦を続けましょう。

結び

今週も共に奉仕の精神で前進し、準備された心で幸運を掴みましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

幹事 小林 篤

- ・地区の規定審議会検討委員会より、今年4月13～17日シカゴで開催された国際ロータリー規定審議会において改定された下記の和訳版が地区ホームページからダウンロードできるようになりましたとの案内が届いております。

①R I 定款

②R I 細則

③標準ロータリークラブ定款

- ・地区公共・イメージ部門よりポリオデーフォトコンテスト開催の案内が届いております。
- ・地区財団部門より尾身茂氏ポリオ講演会へのご参加について御礼と、ポリオデーの活動に必要なグッズや備品などの問合せについての案内。

- ・杉戸RCより、2002-03年度地区幹事を務められた武井章会員の訃報が届きました。ご冥福をお祈り申し上げます。
- ・まちかど雛めぐり実行委員会より第23回まちかど雛めぐりの実行資金に対する寄付のお願いが届きました。
- ・岩槻東RCより親睦ゴルフコンペの案内です。

日時 10月30日(木) 9:08 スタート

場所 プレステージカントリークラブ 東コースIN

お申込はクラブまでお願いします。

- ・2026年度6月開催の台北国際大会について、オンライン登録の方法、およびよくある質問と回答が届いておりますのでご覧ください。
- ・米山校友会主催の米山奨学生日帰り研修旅行の案内です。奨学生のシュク・ウンゴ君とカウンセラーの小林利郎会員が対象です。よろしくお願い致します。
- ・川口モーニングRCよりポリオ根絶チャリティ・フットゴルフ大会のご案内です。

日時 10月25日(土) 9:00-15:00

場所 鳳凰ゴルフ倶楽部フットゴルフコース(群馬太田)

- ・財団NEWS 10月号が届いております。
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会から2024年度の決算報告が届いております。
- ・さいたま市より国際交流センターIECニュース52号、令和8年度二十歳の集い開催に際する寄付・協賛のお願いが届いております。
- ・大宮西RC、大宮東RC、岩槻東RC、大宮北東RCから10月の例会予定表
- ・大宮西RC、大宮東RCより週報が届いております。
- ・友好クラブの千倉RCより年度計画書が届きました。



委員会報告

プログラム・親睦委員会 委員長 三浦宣之

11月第1例会・移動例会案内 (米山梅吉記念館訪問)

日時 11月8日土曜日

集合 7時30分

りそな銀行岩槻支店前

登録料 5,000円

岩槻を8時に出発しバスで米山梅吉記念館へ向かいます。現地では例会および記念館を見学します。詳細はメール・FAXでお知らせいたします。楽しく学ぶ機会としてご参加を宜しくお願いします。



2025-26年度地区部門セミナー報告

●米山部門セミナー

財団・米山委員委員長 富田友輔

・米山記念奨学事業の概要と歴史

- 日本全国のロータリー会員の寄付金を財源に、日本で学ぶ外国人留学生へ奨学金を支給する事業であるとの説明。
- 1952年に東京ロータリークラブで発足し、1967年に文部省許可を得て財団法人化、2012年1月に公益財団法人へ移行、2017年に財団設立50周年。
- これまでに「134」の国と地域から「24,830」人の奨学生を支援。民間最大級の国際奨学事業。

・寄付の運用とクラブの取り組み状況

- 通常寄付金と特別寄付金の二種があり、岩槻ロータリークラブでは会費の一部として寄付金を徴収し、達成率「100%」。
- 各クラブで寄付目標額達成は課題。米山奨学生の受け入れ頻度に差あり。岩槻RCではシュクくんが十数年ぶり受入奨学生となる。
- 個人の寄付総額が「3万円」を超えると、「準米山功労者」としてガバナー月信に紹介される。10月号の15ページ以降に顔写真掲載の紹介。(寄付総額10万円をこえると米山記念奨学会より米山功労者として表彰される。)

・奨学生受け入れのメリット・デメリット

- メリット: クラブが明るく華やぐ、若い世代から学び、継続受け入れクラブのステータス感。
- デメリット/リスク: ハラスメントや文化・宗教差による誤解(肩に触れる、握手の強要)がトラブルに発展。リスク管理と知識不足の問題。
- 異文化理解の機会としての価値が強調。

・カウンセラーの役割と運用上の配慮

- 奨学生は単身、異国で学び緊張する場面も多いと思うので、クラブ側の配慮が重要。
- 岩槻RCでは小林利郎副委員長が米山カウンセラーとして定期的に連絡を取り合い、例会外においてもサポートを実施。実務負担は委員長職よりもカウンセラーの方が高いとの認識。見えないところで活動しているということを頭の片隅においていただきたいとのねざらいが求められた。



・セミナー参加状況と資料の活用

部門セミナーでは、在籍一年未満の委員長が約5名から10名。

本日の配布資料「ロータリー米山記念奨学事業豆辞典」に基礎情報が掲載されているので、疑問解消に有用。

●ロータリー財団部門セミナー

奉仕・支援部門委員長 内藤 明

・ロータリー財団寄付状況の報告

- 国際ロータリー全体の2024-2025年度（前年決算ベース）財団寄付額は「5億ドル」。前年比「136%」増。
- 日本の寄付額は「24億9540万円（約25億円）」で世界「第5位」。日本は4年連続最高額。
- 2770地区は国内「第1位」で年々増加。地区として注目され、感謝が伝えられた。
- 高齢層中心から若年層にも寄付を広げる必要があり、各クラブへ働きかけの要請。



・地区補助金・グローバル補助金の現況

- 地区補助金：ロータリー財団への年次寄付「3年前」の各クラブ寄付実績を基に概算配分。地区としては個人寄付目標額「200ドル以上」を目安に、達成クラブに「1,300ドル」、未達成クラブは「700ドル」を今年度設定。
- 岩槻クラブは「未達成」枠で申請し許可済。配分額「10万3000円」を社会奉仕事業へ充当予定。
- 今後は全体達成額が減る見通しで、クラブへの配分が「1,000ドル」を切る懸念。対応案として複数のクラブ合同での補助金事業を検討提案。
- グローバル補助金：海外大規模事業向け。対象地域に複数クラブの存在など資格要件があり、視野に入れて活動するよう推奨。

・財団への個人寄付の促進

- 米山に対してはクラブ会費からの寄付区分「普通寄付5000円」「特別寄付2万円」がある一方、財団への寄付が相対的に少ないとの認識。
- 寄付に対する認証の種類例：
ポール・ハリス・フェロー（1,000ドル以上）、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（2,000ドル以上）、毎年1,000ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、またはロータリー財団が承認した補助金プロジェクトに寄付するPHS（ポールハリス・ソサエティ）やPPS（ポリオプラス・ソサエティ）、ベネファクター等。
- PPSは「年間100ドル」（現レートで「1万5000」ちょっと）で参加しやすい規模。

ぜひとも財団に対しての寄付もお願いしたい。

寄付して頂ける方は財団米山委員会へよろしく申し上げます。

●国際奉仕部門セミナー

会長 関根信行

・クラブの団結力向上

- 国際交流事業に参加したクラブからは、活動を通じてクラブの団結力が高まったという経験談が共有されました。
- 過去にフィリピンでの活動に参加したメンバーも、同様に団結力の向上を実感したと述べました。

・ロータリー活動の意義の再認識

- 寄付や支援が実際にどのように活用されているかを現地で直接見ることで、ロータリー活動の意義をリアルに体験できると報告されました。
- 約10年前（2015年頃）に台湾を訪問したメンバーは、貧しい地域への支援が届いている様子を目の当たりにし、活動への理解が深まったと語りました。

・参加の推奨

- 多くの経験者が「行けばわかる」と口を揃えており、未経験者には積極的な参加が推奨されました。
- ある委員長は、電気が通っていない地域に電気を通す活動を行い、現地住民から深く感謝された経験を語り、日本では得難い体験であると強調しました。

●会員増強維持部門セミナー

会長 関根信行

1. 仲間集めは「数より質」

- 人数合わせではなく、地域貢献への熱意がある多様な人材を受け入れるべきだと強調されました。
- 年齢や職業が様々なメンバーが集まることで、より良いクラブが形成されるとの見解が示されました。

2. 新会員への手厚いサポート

- 新会員が入会後3ヶ月間、クラブに馴染めるよう手厚くサポートすることが重要です。
- クラブに来るのが楽しい、自分が役立っていると感じてもらえる環境作りが大切だとされました。

3. SNSによる積極的な情報発信

- Facebookなどを活用し、日々の活動を継続的に発信することが、クラブの認知度向上に繋がると報告されました。
- 実際に、SNSでの発信により外部から「元気なクラブだ」と声をかけられる効果が出ており、RI（国際ロータリー）から「いいね」が付くこともあるとのこと。

4. 会員の定着率向上

- 会員の退会防止についてクラブ内で議論すること自体が、定着率向上に繋がるという意見が共有されました。

5. 外部との連携強化

- 地域や企業、学生など、外部と積極的に協力して活動することで、新しい仲間集めの機会を創出することが推奨されました。

熊木雄太郎ガバナーからの助言

- 熊木ガバナーは、会員増強において「こまめな声かけ」が最も重要であると繰り返し述べました。
- 断られることを恐れず、気さくに声をかけ続ける姿勢が、実際に約20人の会員増強に繋がった経験談として語られました。

ローターアクトとの連携課題

・連携不足の現状

- 現状ではロータリークラブとローターアクトクラブがそれぞれ独立して活動しており、両者の連携がうまく機能していないという印象が述べられました。

・連携強化の提案

- ロータリークラブが資金や人脈を提供し、ローターアクターが時間や能力を提供する形で協力すれば、より良い活動が生まれるのではないかと提案されました。
- 両者がもっと混ざり合い、試行錯誤していく必要があるとの課題認識が示されました。

米山記念奨学生

シュク・ウンゴ君



本日の例会において、米山奨学生のシュク君に根根会長から10月分の奨学金を授与しました。大学院進学についてほぼ内定したそうです。おめでとうございます。

10月6日地区大会記念チャリティゴルフ



四つのテスト・
ロータリーの目的唱和
中村 正SAA
会場出席・公共イメージ委員会
・司会
田畑寛樹副委員長
・出席・スマイル報告
松永 豪副委員長



9月・10月の誕生祝い

9月17日
谷内 稜太会員

10月24日
小林 篤会員



おめでとうございます！



スマイルBOX

小林 篤 セミナー報告です。よろしくお願いします。
関根信行 今日は部門セミナー報告です。本日はよろしくお願い致します。
谷内 稜太 本日も宜しくお願いいたします。
田畑寛樹 親愛なる皆様、こんにちは。小林篤直前会長、(9月の)谷内稜太会員、お誕生日誠にありがとうございます。部門セミナー報告される皆様、宜しくお願い申し上げます。
津多一幸 部門セミナー報告よろしくお願いします。
富田友輔 本日も宜しくお願い致します。
内藤 明 本日の部門別セミナー報告よろしくお願い致します。
中村 正 セミナー報告宜しく！
能重裕介 本日もよろしくお願い致します。
松永 豪 本日もよろしくお願い致します。
原田晃博 本日は宜しくお願い致します。
三浦宣之 本日は宜しくお願いします。

出席 報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	11		5	61.54%

スマイル報告

本日のスマイル合計	13,000 円
年間累計額	342,000 円

発行：岩槻ロータリークラブ会場出席・公共イメージ委員会

委員長 星 和彦 副委員長 田畑寛樹 駒澤あい